

第2学年音楽科学習指導案

平成30年12月7日(金)

第5校時 第一音楽室

1 題材名 箏の音色や響きを味わいながら演奏しよう

2 題材について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒たちは、音楽の授業に対して意欲的に活動している。10月に行われた合唱コンクールでも、リーダーを中心に生徒同士が意見を出し合い、積極的に練習し、まとまりのある合唱をすることができた。1年生の時に箏の授業は経験しており、姿勢や構え、基本的な右手の奏法、押し手などを学習し、「さくらさくら」を演奏することができた。しかし、次の糸に当てて止めることや、楽譜通りに正しい音を演奏することなど、基本的な技術を十分に習得できていない生徒もいる。そこで、本題材では基本的な奏法の定着を図るとともに、1年生の時よりも発展的な学習として、様々な奏法を使った演奏活動を行い、箏の音色や響きを味わわせたい。

(2) 題材設定の意図

本題材は、学習指導要領との関連「A 表現(2)器楽 ア曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること」「器楽 イ楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。」「B 鑑賞(ウ)我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。」に即して進めていく。中学校学習指導要領音楽科の中に、「和楽器の指導については、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること。」と記述されている。本題材では生徒たちに、箏のさまざまな奏法による音色の変化や平調子が持つ音階の特徴に関心をもたせ、基本的な奏法を習得させたい。それに加えて、鑑賞の活動を通して箏の多様性や箏曲の発展にも気づかせ、我が国の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう、意欲的に学習へ取り組ませるよう授業を展開していく。

また、箏の演奏には技能習得が不可欠であることから、個々人がそれぞれの課題を克服する主体的な学習となる。しかし、個人練習とせずに、共通する課題をどのように克服するのか、あるいはすでに課題を克服した生徒がアドバイスをを行うなど、対話的な学びを行いたい。

3 題材の目標

- (1) 箏の音色や奏法、平調子による旋律、構成に関心をもち、箏のさまざまな奏法などを身に付けて演奏する学習に主体的に取り組む。
- (2) 箏の音色、平調子による旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現したい思いや意図をもって、表現を工夫する。
- (3) 箏の特徴をとらえた音楽表現をするために、さまざまな奏法を身に付けて演奏する。
- (4) 箏の音色や多様な奏法、旋律や形式を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

4 教材について

(1) 器楽教材

○「さくらさくら」 日本古謡／鹿谷未緒子 編曲

日本人であれば誰でも親しむ美しい曲である。いろいろな奏法による音色の違いを感じ取りやすく、二重奏ならではのアンサンブルを楽しむことができる。

(2) 鑑賞教材

○箏曲「六段の調」 八橋検校

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連と具体的な学習活動

指導事項	器楽ア 曲想を味わい，曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。 器楽イ 楽器の特徴を理解し，基礎的な奏法を生かして演奏すること。 鑑賞ウ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して，鑑賞すること。
〔共通事項〕ア イ	音色 リズム 旋律 テクスチャ 構成 ----- 拍 拍子 間 序破急 音階
具体的な 学習活動	・箏の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な基礎的な奏法を身に付ける演奏する。 ・我が国の伝統音楽の特徴を感じ取り、表現したり鑑賞したりする。

6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体の評価規準）

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
------------------	---------------	---------	-------

題材の評価規準	① 箏の音色や奏法などの特徴に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 (器楽)	① 箏の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や奏法などの特徴を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	① 箏の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な箏の基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。	① 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を感じとって、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。
	② 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりや音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 (鑑賞)	② 箏の音色や奏法などの音楽的な特徴を感じ取り、よさや美しさを味わおうとしている。		
	①			
		①	①	
		①		
		②	①	
	③		①	

7 指導と評価の計画 (全5時間)

時	○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<第1次>箏の音色や響きを生かして演奏しよう。		
1	○箏の基礎的な奏法の習得 ・巾から一、一から巾まで順に弾き、爪の扱い方など基本的な奏法を確認する。 ・「さくらさくら」箏1を練習する。 ・スクイ爪の奏法ついてワークシートを使いながら学習す	○一人ずつ丁寧に確認し順序立てて的確に行う。 ○生徒の演奏を観察し、注意が必要な事項を中心に指導を行う。 ○二人組になり、お互いに確認させる。 ☆箏の音色や奏法などの特徴に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。(関① 活動観察) ○スクイ爪の音色のやわらかさに気付かせる。 ○スクイ爪がやりやすいような爪の動かし方などを助言する。

	る。	
2	<p>○箏の基礎的な奏法の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」箏1を練習する。 ・流し爪の奏法についてワークシートを使いながら学習する。 ・「さくらさくら」箏2を練習する。 ・ピッツィカートについてワークシートを使いながら学習する。 	<p>○基礎的な奏法について、既習事項に新しく学んだ奏法を加え、それらを意識しながら演奏するよう助言する。</p> <p>○生徒の演奏を観察し、注意が必要な事項を中心に指導を行う。</p> <p>○二人組になり、お互いに確認させる。</p> <p>☆箏の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や奏法などの特徴を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(創① ワークシート)</p> <p>○美しい音色の流し爪になるよう、孤を描くように爪を動かすことを助言する。</p> <p>○ピッツィカートのやわらかな音色を聴き取らせその特徴に気付かせる。</p> <p>☆箏の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な箏の基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。(技① 活動観察)</p>
3 本 時	<p>○箏の基礎的な奏法の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」箏2を練習する。 ・トレモロ、合わせ爪についてワークシートを使いながら学習する。 	<p>○基礎的な奏法について、既習事項に新しく学んだ奏法を加え、それらを意識しながら演奏するよう助言する。</p> <p>○生徒の演奏を観察し、注意が必要な事項を中心に指導を行う。</p> <p>○二人組になり、お互いに確認させる。</p> <p>☆箏の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や奏法などの特徴を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(創① ワークシート)</p> <p>○トレモロがやりやすいような爪の動かし方などを助言する。</p> <p>○合わせ爪で演奏する際、五と十、一と五の響きを感じ取らせるとともに、指の幅を覚えるよう助言する。</p>

4	<p>○箏の演奏活動のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」の箏1・2を合わせて演奏する。 ・「さくらさくら」の演奏を発表する。 	<p>○生徒の演奏を観察し、注意が必要な事項を中心に指導を行う。</p> <p>☆箏の音色や奏法などの音楽的な特徴を感じ取り、よさや美しさを味わおうとしている。(創② 演奏観察)</p> <p>○箏1と箏2の構成に気付かせ、お互いの音を聴いて、アンサンブルを整えるよう助言する。</p> <p>○これまでに学習した内容を知覚・感受し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取って演奏したり、聴いたりすることができるようにする。</p> <p>☆箏の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な箏の基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。(技① 演奏発表)</p>
<p><第2次></p> <p>箏の音色や奏法などの音楽的特徴を感じ取り、よさや美しさを味わいながら聴こう。</p>		
5	<p>○「六段の調」の鑑賞をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奏法による音色の変化に着目する。 ・楽曲について理解する。 ・速度の変化(序破急)を聴き取る。 	<p>○どのような奏法を用いているのかを考えさせながら聴かせる。</p> <p>○様々な奏法の効果と表現や余韻の変化、速度の変化に気付かせる。</p> <p>☆音楽を形づくっている要素と曲想との関わりや音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(関② 活動観察)</p> <p>○学習したことを基に、楽曲を総合的に聴くことができるようにさせる。</p> <p>☆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、我が国の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を感じとって、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。(鑑① ワークシート)</p>

(1) 本時の目標

- 箏の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現したい思いや意図をもって、表現を工夫する。
- 箏の特徴をとらえた音楽表現をするために、さまざまな奏法を身に付けて演奏する。

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<p>○基本的な奏法の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、構え、爪の運び方を確認する。 ・ピッツィカート奏法の確認をする。 <p>○本時のねらいをつかみ、学習内容を理解する。</p>	<p>○曲を演奏する上で、右手の移動を移動する時にも基本的な奏法が崩れないように確認させる。</p> <p>○口唱歌を用いて、箏の音色や響きを感じ取らせたり、奏法を覚えさせたりする。</p>
<p>トレモロと合わせ爪の特徴を探り、演奏しよう</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・トレモロの音を聴いて、特徴を聴き取り、ワークシートに記入をする。 ・口唱歌では「チリチリ」と表すことを学習する。 ・耳から聴こえてきた音を頼りに、隣の人と意見交換をしながら実際に演奏をしてみて再現をする。 ・演奏しやすい方法を考える。 ・合わせ爪についてワークシートを使いながら学習する。 <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自己評価とふりかえりを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○奏法や口唱歌が想像しやすい音源を用意する。 ○トレモロの音だけに焦点をしばり、学習への関心を高める。 ○他者と協働することによって、多様な見方・考え方をもたせる。 <p>☆箏の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や奏法などの特徴を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペア学習のため、教え合いを行ったり、楽器に触れない生徒は紙箏を用いて練習を行ったりするよう促す。 ○生徒がつまずきやすい場所を適宜取り上げて、部分練習を行う。 <p>☆箏の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な箏の基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。【音楽表現の技能】</p>

	○本時の取組のよさを称賛し、次時の活動の意欲につなげる。
--	------------------------------

9 備考

在籍生徒数 男子19名 女子20名 計39名